

平成 25 年 度 決 算 に 係 る

定 期 監 査  
決 算 審 査 調 書

平成 26 年 4 月

総務部名古屋代表部

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	1 頁
6	主な事業に関する調べ	2 頁
7	決算調書（総括表）	9 頁
8	事業別実施状況調べ	10 頁
9	予備費の充用調べ	10 頁
10	繰越関係調べ	10 頁
	(1) 継続費通次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
11	収入証紙取扱額調べ	10 頁
12	収入事務処理状況調べ	10 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 寄付金	
	(6) 諸収入	
	(7) 現金の取扱状況	
13	税外収入未済額調べ	11 頁
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	11 頁
15	税外収入不納欠損額調べ	11 頁
16	債務負担行為の状況調べ	11 頁
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	12 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(2-2) 補助金（他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの）	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
	(4-2) 委託料（他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの）	
18	工事請負費調べ	16 頁
18-2	工事請負費調べ（他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの）	16 頁
19	財産に関する調べ	16 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
20	財産の貸付及び使用許可調べ	18 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの）	

21	借受不動産明細調べ	18 頁
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	18 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
23	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	18 頁
24	寄附物件の受納状況調べ	18 頁
25	備品の処分状況調べ	18 頁
26	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	18 頁
27	貸付金等状況調べ	18 頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
28	企業誘致の状況	19 頁
	(1) 企業誘致の条件、目標等	
	(2) 企業訪問	
	(3) 企業の要望、課題等	
	(4) その他	
29	県内物産の展示、宣伝、紹介の状況	19 頁
30	観光宣伝の状況	19 頁
31	県外本部・代表部庁舎に入居している団体等の調べ	20 頁
○意見、要望等		21 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 該当なし
- (2) 監査意見 該当なし
- (3) 決算審査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況 該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
名古屋代表部		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県行政に必要な情報の収集及び資料の調査に関すること。</li> <li>・ 中京地域の商況（農産物市場の状況等を除く。）等の調査及び情報連絡に関すること。</li> <li>・ 県内物産に関する宣伝及び紹介に関すること。</li> <li>・ 観光の宣伝に関すること。</li> <li>・ 中京地域等の企業の誘致に関すること。</li> <li>・ 県内産業の振興に係る情報収集及び連絡調整に関すること。</li> <li>・ 県内への定住促進等に関すること。</li> </ul>

4 職員の定員、現員調べ

（平成26年4月1日現在）

種 別 区 分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当該年度	25.4.1現在	当該年度	25.4.1現在	当該年度	25.4.1現在	当該年度	25.4.1現在	
定 員	2	2	0	0	0	0	2	2	
現 員	(0) 2	(0) 2	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 2	(0) 2	
過不足(Δ)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨 時 職 員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	2	2	0	0	0	0	2	2	事務員1名 企業誘致担当1名

5 役付職員の調べ

（平成26年4月1日現在）

職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
部長	吉村 文宏	2年 月	
次長	福本 哲也	2年 月	出納員

6 主な事業に関する調べ

事業名	概	要																		
<p>近くなったぞ鳥取県！～鳥取自動車道全通による中京圏PR事業～</p> <p>決算（見込）額 7,193千円 （財源内訳） 一般財源 7,193千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 平成25年3月の鳥取自動車道全通を好機として、大きな圏域人口（東海3県で11,334千人）を抱える中京圏で鳥取県の認知度を高めるため、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近くなった、早くなった鳥取県（鳥取県へのアクセスルート、名古屋～鳥取間4時間30分（車の場合）など）</li> <li>・鳥取県の秋の魅力（食、温泉、自然、全国都市緑化フェア開催など）のPRを行うことで、認知度の向上及び誘客促進を図る。</li> </ul> <p>(イ) 事業の実施状況 中京圏からの利用が多い自動車利用者（来県者のうち37%）、さらにレジャー客を主な対象としてPRを実施。</p> <table border="1" data-bbox="499 672 1501 1205"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>部数</th> <th>期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秋ぴあ東海版鳥取県特集（8ページ特集カラー）</td> <td>鳥取県の秋の魅力（温泉、グルメ）及び「緑化フェア」の見所を紹介。</td> <td>7万部</td> <td>H25年8月</td> </tr> <tr> <td>秋ぴあ東海版鳥取県特集の抜き刷り版</td> <td>高速道路のサービスエリア及び各イベント等で配布。</td> <td>1万部</td> <td>H25年8月～</td> </tr> <tr> <td>サービスエリアガイド（ネクスコ中日本発行）</td> <td rowspan="2">東海エリアを中心とした高速道路のサービスエリアに配架し、鳥取県の秋冬の魅力及び「緑化フェア」等の広告を掲載。</td> <td>70万部</td> <td rowspan="2">H25年10～12月</td> </tr> <tr> <td>フリーペーパー「高速家族」（ネクスコ中日本発行）</td> <td>15万部</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 「鳥取県の位置、高速道路のアクセス、所要時間」のPRによる「近くなった」ことに加え、県内移動も短縮され周遊できるエリアの拡大もあわせて強調してPRを実施。</p> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取への交通アクセスの利便性が向上したことをPRすることができた。</li> <li>・名古屋代表部に「広告で鳥取自動車道が開通したことを知ったので、鳥取旅行を考えたい」という問い合わせが増えた。</li> <li>・中京圏から鳥取への旅行商品造成が増加した。 69件（H22） → 215件（H26年1月末時点）</li> <li>・大手旅行会社の「鳥取県ツアー」申込者数が増加 ＜A社＞添乗員付きツアー客数：前年の約130% ＜B社＞個人旅行客数：前年の約140%</li> <li>・中京圏から鳥取県への宿泊旅行者割合が増加 鳥取県宿泊旅行者に占める中京圏発地の割合（じゃらん宿泊旅行調査） 6.8%（H23） → 7.6%（H24） → 11.6%（H25）</li> </ul> <p>エ 課題 鳥取に対する認知度はまだ十分には浸透しておらず、引き続き効果的なPR方法を継続・実施していく必要がある。</p>	項目	内容	部数	期間	秋ぴあ東海版鳥取県特集（8ページ特集カラー）	鳥取県の秋の魅力（温泉、グルメ）及び「緑化フェア」の見所を紹介。	7万部	H25年8月	秋ぴあ東海版鳥取県特集の抜き刷り版	高速道路のサービスエリア及び各イベント等で配布。	1万部	H25年8月～	サービスエリアガイド（ネクスコ中日本発行）	東海エリアを中心とした高速道路のサービスエリアに配架し、鳥取県の秋冬の魅力及び「緑化フェア」等の広告を掲載。	70万部	H25年10～12月	フリーペーパー「高速家族」（ネクスコ中日本発行）	15万部	
項目	内容	部数	期間																	
秋ぴあ東海版鳥取県特集（8ページ特集カラー）	鳥取県の秋の魅力（温泉、グルメ）及び「緑化フェア」の見所を紹介。	7万部	H25年8月																	
秋ぴあ東海版鳥取県特集の抜き刷り版	高速道路のサービスエリア及び各イベント等で配布。	1万部	H25年8月～																	
サービスエリアガイド（ネクスコ中日本発行）	東海エリアを中心とした高速道路のサービスエリアに配架し、鳥取県の秋冬の魅力及び「緑化フェア」等の広告を掲載。	70万部	H25年10～12月																	
フリーペーパー「高速家族」（ネクスコ中日本発行）		15万部																		

まだ見たことがない日本がここにある！～鳥取県の魅力発信事業～

決算（見込）額  
2,500千円  
（財源内訳）  
一般財源  
2,500千円

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

鳥取県の認知度をさらに高めるため中京圏において、「とっとりグリーンウェイブ」を中心に、県情報を発信するイベントの実施やマスコミとの連携によるPRを行い、認知度の向上及び誘客促進を図る。

(イ) 事業の実施状況

鳥取県の魅力発信

①マスコミ等を活用した情報発信

◆新規テレビ番組でのPR

名古屋で初めての取組として、テレビ番組で鳥取県の魅力を紹介。

番組名	「トコトン! サタデー」(テレビ愛知)
放送時間	9月7日(土)、14日(土)の2回 10分ずつ
出演者	杉浦太陽(司会)、テレビ愛知アナウンサー 他
番組内容	第30回全国都市緑化とっとりフェアを中心に、グルメ、観光地を鳥取県内ロケにより紹介

◆新聞、フリーペーパー等でのPR

- ・中日新聞中日ショッパー(8段カラー/69万部)で、「グリーンウェイブ」「砂の美術館」等旬の話題を紹介(7/4、9/19、11/14、3/27)。
- ・緑化フェア・砂の美術館セット入場券等のプレゼント企画を実施

◆報道機関へのニュースリリース

随時

②イベント等の実施による情報発信

項目	内容	来場者数等	期間・場所等
新規事務所内での観光PR	名古屋代表部入口のパンフレットコーナーを拡張し、ミニトリピー砂像や映像用モニター等の設置により集客効果を向上。	—	H25年10月～
新規金山駅でのPRイベント	中京地区屈指のターミナル駅である金山駅内コンコースにブースとステージを設置し、オアシスえんじえる・観光大使等によるショー及びミニ砂像の公開制作などによりPRを実施。	金山駅コンコースの一日あたりの利用者数：約40万人。	H25年6月27～28日
新規愛知県知事訪問PRキャラバン	緑化フェア応援団「小山みどりさん(愛知県在住)、花トリピー、オアシスえんじやる等」によるキャラバン隊が大村知事を訪問し、緑化フェアのPRを実施。	—	H25年7月1日
全国ふるさと県人会まつりへの参加	東海鳥取県人会と県が一体となって参加し、物産販売や観光コーナーを設置。ステージでしゃんしゃん傘踊りの披露、鳥取県のPRを実施。	約15万人	H25年9月7～8日(久屋大通公園)
新規名古屋駅及び主要JR駅でのPR(新規ポスター制作)	鳥取県(アクセス)や緑化フェアを紹介する名古屋向けポスター3種を制作し、名古屋駅コンコースで26枚を掲出、さらに東海地区主要JR駅(金山駅、刈谷駅等)に掲出。	—	H25年9月17～23日

第 59 回名古屋まつりでの PR	秋の名古屋最大の祭りで鳥取県ブースを設置してPRするとともに、ステージでオアシスえんじやると花トリピーによるPRを実施。	約96万人	H25 年 10 月 19 ～20 日 (オアシス 21)
新規観光情報説明会の開催	実施主体である鳥取県観光連盟に協力し、中京圏の旅行会社を対象に、鳥取県のツアー造成に向け県の魅力紹介や鳥取県の旅を提案。	約 100 名 (旅行会社、報道機関等)	H25 年 11 月 18 日 (キャッスルプラザ名古屋)
旅まつり名古屋 2014でのPR	鳥取県観光連盟と共同出展し、アクセスの良くなった鳥取県への「旅」をPR。アンケートにより、鳥取の認知度等を調査。	約 30 万人	H26 年 3 月 15 ～16 日 (久屋大通公園)
その他の関連イベントへの参加	県が関係するイベントに参加し、観光コーナーの設置等によりPRを実施。	約 100 人	・東海鳥取県人会 H25 年 6 月 29 日 (国際ホテル)
		約 17 万人	・メ～テレ祭り H25 年 9 月 28 ～29 日 (久屋大通公園)

③新規名古屋から鳥取までのアクセス・魅力をPRする中京圏向けチラシの独自制作  
・初版 8月 4, 000部、 改訂版 平成26年1月 6, 000部

④集客施設でのPR

実施主体である鳥取県観光連盟に協力し、集客の多い店舗等の店頭で鳥取県PRを実施。  
※主な開催店舗：イオンモール名古屋港、アピタ知立店等

イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・新規取組として、マスコミでのPRや駅でのイベントなど、露出度の高いPR手段を多く実施した。
- ・鳥取県観光連盟、県内市町村等との連携を強化し、イベント等でのPRに鳥取県内の団体の参加を得て、今まで以上に集中的にPRを実施した。

ウ 成 果

- ・中京圏から鳥取への旅行商品造成が増加した。  
69件 (H22) → 215件 (H26年1月末時点)
- ・大手旅行会社の「鳥取県ツアー」申込者数が増加  
＜A社＞添乗員付きツアー客数 : 前年の約130%  
＜B社＞個人旅行客数 : 前年の約140%
- ・中京圏から鳥取県への宿泊旅行者割合が増加  
鳥取県宿泊旅行者に占める中京圏発地の割合 (じゃらん宿泊旅行調査)  
6.8% (H23) → 7.6% (H24) → 11.6% (H25)
- ・中京圏から鳥取県への観光客が増加傾向であることから、鳥取県内関係団体も名古屋でのPRに積極的であり、「旅まつり名古屋」では鳥取県内から10団体が参加した。

エ 課 題

鳥取に対する認知度はまだ十分には浸透しておらず、引き続き効果的なPR方法を継続・実施していく必要がある。

ふるさと鳥取県産業  
・観光センター設置運  
営事業

決算（見込）額  
9,351千円  
（財源内訳）  
一般財源  
9,351千円

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- ・名古屋・中京圏における県産品の宣伝・販路開拓。
- ・県及び入居団体が連携、情報共有し、「センター」としての機能発揮の強化。

<体制>

鳥取県名古屋代表部、公益財団法人鳥取県産業振興機構、公益社団法人鳥取県観光連盟で構成する「ふるさと鳥取県産業・観光センター」として情報や類似業務の共有化や庶務業務等の効率化がなされるよう各団体間の関係を深め、センター機能の向上を図る。

(イ) 事業の実施状況

「食のみやこ鳥取県」PR、県産品販路開拓

①県産品等の情報発信及び販路開拓

項目	内容	来場者数等	期間・場所等
ふるさとフェア	年2回（各5日間）中日ビルで開催されるふるさとフェアへの参加（全国物産観光センター連絡協議会主催） ※主な販売商品：とうふちくわ、氷温熟成お米、砂丘らっきょう甘酢漬、飲むヨーグルト、あご入りだし、大山ハム、長いも、いかの糍漬、干物 等	5日間 のべ 約2万5 千人	・春のフェア H25年4月22 ～26日  ・冬のフェア H25年12月2 ～6日  (中日ビル)
らっきょう漬け方講習会の開催	鳥取いなば農協、名古屋市内のマスコミ媒体（中日ショッパー）等と連携した砂丘らっきょうの漬け方講習会を開催。参加者55名。	約30人 ----- 25人	H25年6月4日 (ピアゴ印場店) ----- H25年6月5日 (東生涯学習センター)
全国ふるさと県人会まつりへの参加	東海鳥取県人会と鳥取県が一体となって参加し、二十世紀梨、砂丘ながいも等の県産品を販売。	約16万人	H25年9月7 ～8日 (久屋大通公園)
新規レストランでの「鳥取県フェア」開催	一般社団法人日本野菜ソムリエ協会と連携し、名古屋市内のレストランで鳥取県産食材を使ったディナーのコース料理を提供。 ※使用食材：地鶏ピヨ、モサエビ、赤ガレイ、瑞穂生姜、熟成大山豚、ねばりっこ 等	—	H25年2月16日 ～3月15日
鳥取県の食材を使った交流会等の開催	観光情報説明会 ※使用食材：とうふちくわ、らっきょう、松葉がに、オレイン55、地酒 等	約100人	H25年11月18日 (キャッスルプラザ名古屋)
	鳥取県企業立地セミナーin名古屋 ※使用食材：同上	104人	H25年11月22日 (名古屋ルーセントタワー)

◆新聞、フリーペーパー等への読者プレゼント企画の実施  
らっきょう、大山ブロッコリー 等

## ②流通情報の収集及び情報発信、販路開拓

### ◆小売業者からの情報の収集

名古屋市内の小売店（フランテ、ヤマナカ等）の視察、聞き取りにより、販路開拓に関する情報を収集。

### ◆二十世紀梨等（鳥取産・他県産）の小売店等の価格調査

### ◆県内食品事業者、団体と連携した、名古屋市内量販店等への商品プレゼンテーションなど販路開拓の実施

## ③県人会との交流

◆東海鳥取県人会総会（6/29）、浜松鳥取県人会総会（2/23）、その他高校同窓会に出席し、県情報の提供やふるさと納税の呼びかけ、さらに県に対する有益な情報交換を行った。

◆その他、東海鳥取県人会「鳥取県の歴史を考える会」などに参加した。

## イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・事務事業の見直しを行い、新規事業については委託等も活用し効率的な実施に努めた。
- ・鳥取県観光連盟、鳥取県産業振興機構の名古屋駐在担当者との連携や情報共有により、新たな取り組みを積極的に進めた。（金山駅PRイベント、企業立地トップセミナー等）
- ・東海鳥取県人会や鳥取県物産協会など人脈やノウハウのある関係者との連携や情報交換を密にし、各事業の効果を高めた。

## ウ 成 果

- ・レストランでの「鳥取県フェア」で提供した「二十世紀梨のお酒」などが好評で、レストランの定番メニューとなった。
- ・中京圏から鳥取への旅行商品造成が増加した。  
69件（H22） → 215件（H26年1月末時点）
- ・大手旅行会社の「鳥取県ツアー」申込者数が増加  
<A社>添乗員付きツアー客数 : 前年の約130%  
<B社>個人旅行客数 : 前年の約140%
- ・中京圏から鳥取県への宿泊旅行者割合が増加  
鳥取県宿泊旅行者に占める中京圏発地の割合（じゃらん宿泊旅行調査）  
6.8%（H23） → 7.6%（H24） → 11.6%（H25）

## エ 課 題

- ・大きな圏域人口（東海3県で11,334千人）を抱えながら、鳥取県の認知度が高くなく、「鳥取砂丘」「ゲゲゲのふるさと」というキーワードは知っていても、「鳥取県の位置」「鳥取県へのアクセス、所要時間」といったことがまだ認識されていない。
- ・二十世紀梨やらっきょうなど、限られた産品外以外の知名度が低い。
- ・中京圏に県産品をまとめて扱う店舗がない。

企業立地推進事業

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

中京圏からの企業誘致及び企業間取引を促進する。

(イ) 事業の実施状況

①企業訪問活動の実施

進出の可能性のある企業を抽出して訪問し、県の企業立地環境などのプレゼンテーションを実施。

②新規「鳥取県企業立地トップセミナーin名古屋」の開催

中京地区の企業等に対し、知事から鳥取県の施策や企業立地環境等をPRするセミナーを開催。

日程等	11月22日（金） 名古屋ルーセントタワー内
プログラム	・知事プレゼンテーション ・鳥取県の魅力紹介（とっとり観光親善大使） ・講演 中京テレビ放送(株)代表取締役社長 山本孝義氏
出席者	中京圏企業 85名（鳥取県が接触している企業、鳥取県進出企業等） 鳥取県内関係団体25名（市町村、県内経済団体、大学等） 計 110名

③新規鳥取県の立地環境の情報発信

鳥取県への企業立地」をPRするステッカーの制作・掲出	内容：アクセス、災害リスクの低さなど 掲出：平成26年11月の1ヶ月間。名古屋市営地下鉄全車両（約800車両）に掲出。
鳥取県紹介ビデオの制作	内容：中京圏の企業や一般向けの鳥取県紹介ビデオ（8分） アクセス、立地環境、交通インフラ、魅力等 使用：企業訪問やイベント時に活用。

④新規アイシン精機(株)との連携事業の実施

実施主体である鳥取県産業振興機構に協力し、各種事業を実施。

- ・経営力強化セミナー（4/18 とりぎん文化センター）  
山内相談役を講師に、鳥取県内のものづくり企業を対象にした、現場改善や元気思考による業績向上を学ぶセミナーを開催。
- ・工場見学会（7/24 アイシン精機(株)本社）  
県内企業12社（35名）が参加し、技術や現場改善手法を学習する見学会を開催。
- ・調達検討会（10/23 アイシン精機(株)安城工場）  
県内企業5社による工場見学後、電気関係部品の調達可能性を検討する会を開催。

イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

「企業立地トップセミナー」や「企業立地環境のPR」など、企業誘致の面でも鳥取県の認知度向上を目指した新規取組を行った。

ウ 成果

- ・4月から新たに企業誘致専門職員（非常勤職員）を配置したことで機動的な活動が可能となった上、中京圏で培った人脈や経験により、効率的により多くの企業への訪問が実現できている。  
101社（H24） → 238社（H26年3月末時点）
- ・新たなコネクションの開拓による新規訪問が増え、それに伴い今後の成果が期待される案件が増加している。
- ・企業立地トップセミナーに中京圏からの参加が多くあり（85名）、アンケート結果からも鳥取県の情報提供について一定の成果があった。

	<p>&lt;セミナー参加者アンケートの主な回答&gt;  「災害リスクの少なさ、アクセスの良さなど鳥取県の立地環境は良いと思った。」  「鳥取県企業との連携ができないか考えたい。」</p> <p>エ 課 題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工場等の国内進出を検討する企業は多くはないが、円安、景気の上向きにより投資意欲を高める企業も散見され始めており、そのような企業を効率よく開拓・アプローチする工夫が必要。</li> </ul>														
<p><b>新規</b>  鳥取県ネットワーク  構築事業</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋の各界の第一線で活躍する鳥取県出身者との「情報ネットワーク」の構築</li> <li>参加メンバーと鳥取県のつながりを強化し、県政への提言及び協力などのきっかけ作り</li> </ul> <p>[背景] 東海鳥取県人会は活発に活動を行っていただいているが、現役世代の方は仕事の都合などから参加が少ないのが現状。一方で、「鳥取県の情報やネットワークがあれば」と感じている経済人の方も少なからずいらっしゃることから、新規に鳥取県ゆかりの経済人の方とのネットワーク構築を開始した。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>①日程 平成26年2月27日(木) 名古屋市内</p> <p>②参加メンバー</p> <table border="1" data-bbox="507 920 1492 1281"> <thead> <tr> <th>所属等</th> <th>氏名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可世木レディースクリニック院長 (東海鳥取県人会会長)</td> <td>可世木 博 様</td> </tr> <tr> <td>トヨタ自動車株式会社 製品企画本部 主査</td> <td>杵築 邦昌 様</td> </tr> <tr> <td>中日本高速道路株式会社 関連事業本部 担当部長</td> <td>谷岡 和範 様</td> </tr> <tr> <td>株式会社パソナ 執行役員東海営業本部長</td> <td>田村富美子 様</td> </tr> <tr> <td>岐阜大学 理事・副学長</td> <td>八嶋 厚 様</td> </tr> <tr> <td>中京テレビ放送株式会社 代表取締役社長</td> <td>山本 孝義 様</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 参加者からの提言・エール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東海鳥取県人会も県の発信に協力していきたい。</li> <li>鳥取県は自然も食も企業もいいものがたくさんあり、もっとPRしてほしい。</li> <li>人口が一番少ないが、人と人の「心の時間距離は短い」。それだからこそできる県作りを目指してほしい。</li> <li>こういった会の開催はありがたいので、我々もできることを協力していきたい。</li> </ul> <p>イ 成 果</p> <p>参加した皆様から、会の開催にご賛同をいただいたことから、今後も県ゆかりの方を発掘し、ネットワークを広げながら開催する。</p> <p>ウ 課 題</p> <p>中京圏にいらっしゃる鳥取県出身者及びゆかりの方は、数がそう多くないが、引き続き探してネットワークを拡大・構築する。</p>	所属等	氏名	可世木レディースクリニック院長 (東海鳥取県人会会長)	可世木 博 様	トヨタ自動車株式会社 製品企画本部 主査	杵築 邦昌 様	中日本高速道路株式会社 関連事業本部 担当部長	谷岡 和範 様	株式会社パソナ 執行役員東海営業本部長	田村富美子 様	岐阜大学 理事・副学長	八嶋 厚 様	中京テレビ放送株式会社 代表取締役社長	山本 孝義 様
所属等	氏名														
可世木レディースクリニック院長 (東海鳥取県人会会長)	可世木 博 様														
トヨタ自動車株式会社 製品企画本部 主査	杵築 邦昌 様														
中日本高速道路株式会社 関連事業本部 担当部長	谷岡 和範 様														
株式会社パソナ 執行役員東海営業本部長	田村富美子 様														
岐阜大学 理事・副学長	八嶋 厚 様														
中京テレビ放送株式会社 代表取締役社長	山本 孝義 様														

7 決算調書

(総括表)

区分	科目	予 算 現 額				決算額 B	翌 年 度 繰 越 額 C	差引増減額 A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越額	予備費支出及び流用増減				
歳 出	県外事務所費	19,044,000				19,044,000		0	1月末未支出済額 13,648,906円
						0		0	
						0		0	
						0		0	
						0		0	
						0		0	
						0		0	
	合 計	19,044,000	0	0	0	19,044,000	19,044,000	0	0
同 上 財 源 内 訳	雑入	294,000				294,000	501,284	△ 207,284	
						0		0	
						0		0	
						0		0	
						0		0	
						0		0	
	合 計 b	294,000	0	0	0	294,000	501,284	0	△ 207,284
	一般県費充当	18,750,000	0	0	0	18,750,000	18,542,716	0	207,284
合 計	19,044,000	0	0	0	19,044,000	19,044,000	0	0	

8 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(県外事務所費) (主) 近くなったぞ鳥取県！～鳥取自動車道全通による中京圏PR事業～	7,193,000	7,193,000	0	0	「6主な事業に関する調べ」に記載。
(主) まだ見たことのない日本がここにある！～鳥取県の魅力発信事業～	2,500,000	2,500,000	0	0	「6主な事業に関する調べ」に記載。
(主) ふるさと鳥取県産業・観光センター設置運営事業	9,351,000	9,351,000	0	0	「6主な事業に関する調べ」に記載。
目 計	19,044,000	19,044,000	0	0	
合 計	19,044,000	19,044,000	0	0	

9 予備費の充用調べ 該当なし

10 繰越関係調べ

- (1) 継続費逐次繰越調べ 該当なし
- (2) 繰越期許費調べ 該当なし
- (3) 事故繰越調べ 該当なし

11 収入証紙取扱総額調べ 該当なし

12 収入事務処理状況調べ

- (1) 分担金及び負担金 該当なし
- (2) 使用料 該当なし
- (3) 手数料 該当なし
- (4) 財産収入 該当なし
- (5) 寄付金 該当なし

## (6) 諸収入

(単位：円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
雑入	雑入	名古屋代表部事務室使用に係る貸借料	2	282,312	282,312	0	0		借受団体 (財)鳥取県産業振興機構 (社)鳥取県観光連盟
		名古屋代表部事務室使用光熱水費及び複写料金	7	267,876	218,972	0	48,904		
		計(節)		550,188	501,284	0	48,904		
目計				550,188	501,284	0	48,904		
合計				550,188	501,284	0	48,904		

## (7) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況 該当なし

イ つり銭の状況 該当なし

13 税外収入未済額調べ 該当なし

14 未収金回収促進のための取り組み状況調べ 該当なし

15 税外収入不納欠損額調べ 該当なし

16 債務負担行為の状況調べ 該当なし

1.7 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(単位：円)

予算科目 (目)	予算額	区分	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令名等 (規約、要領等を含む)	備考
県外事務所費	100,000	単県	第47回全国センター合同物産観光展負担金	全国物産観光センター連絡協議会	定額	H25.5.17	100,000	「第47回全国センター合同物産観光展負担金」開催要綱	
支出額が10万円未満のもの							207,250		
目計							307,250		
合計							307,250		

(2) 補助金 該当なし

(2-2) 補助金 (他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの) 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4) 委託料

(単位：円)

予算科目 (目)	国補 単県 の別	委託料の名称	委託契約 の相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等 年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約 期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
				変更契約 (最終)			契約形態	履行検査 年月日				
					(契約年月日) 契約額	契約 期間						
県外事務所費	単県	金山駅鳥取県観光PRイベント業務委託	株式会社JTB プロモーション	700,000	(H25. 6. 21) 642,600	H25. 6. 21 ~ H25. 7. 1	H25. 6. 19 (免除)	H25. 6. 28	精	H25. 7. 25	642,600	新規
							随	—				
県外事務所費	単県	ふるさと県人会 まつり2013 鳥取県ステージ 傘踊り派遣	一般社団法人 鳥取市観光コンベンション 協会	281,605	(H25. 9. 2) 281,605	H25. 9. 2 ~ H25. 9. 7	H25. 9. 2 (免除)	H25. 9. 7	精	H25. 10. 4	281,605	
							随					
県外事務所費	単県	鳥取県の観光情報発信に係る業務委託	ぴあ株式会社	2,835,000	(H25. 6. 26) 2,835,000	H25. 6. 26 ~ H25. 9. 30	H25. 6. 26 (免除)	H25. 9. 30	精	H25. 10. 28	2,835,000	
							随	H25. 9. 30				
県外事務所費	単県	東海エリア内の 高速道路でのP R広告掲載委託 契約	中日本エクス ス株式会社	2,940,000	(H25. 10. 1) 2,940,000	H25. 10. 1 ~ H25. 12. 31	H25. 9. 2 (免除)	—	前	H25. 10. 29	2,940,000	
							随					
県外事務所費	単県	東海エリア内の 高速道路でのP R広告掲載委託 契約	中日本エクス ス株式会社	682,500	(H25. 10. 10) 682,500	H25. 10. 10 ~ H25. 12. 24	H25. 9. 2 (免除)	—	前	H25. 10. 29	682,500	
							随	—				
県外事務所費	単県	「高速家族」広 告をベースとし たチラシ・ポス ター制作委託	株式会社大広 名古屋支社	203,700	(H25. 7. 31) 149,100	H25. 7. 31 ~ H25. 10. 18	H25. 7. 31	—	精	H25. 12. 20	203,700	新規
					(H25. 10. 11) 54,600		随	—				

予定価格が10万円 未満のもの											162,554	
目 計											7,747,959	
合 計											7,747,959	

(4-2) 委託料 (他県から予算の配当替え又は命達を受けて執行したもの)

(単位：円)

予算科目 (目)	国補 単県 の別	委託料の名称	委託契約 の相手方	当 初 契 約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等 年月日)	完 了 年月日	支 出 の 状 況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間			支出 区分	支 出 年月日	金 額	
				変 更 契 約 ( 最 終 )			契 約 形 態	履 行 検 査 年月日				
					(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間						
広報費	単県	テレビ番組による鳥取県の観光情報発信に係る業務委託	株式会社テレビ愛知企画	1,050,000	(H25. 8. 15) 1,050,000	H25. 8. 15 ～ H25. 10. 31	H25. 8. 8 (免除)	H25. 9. 17	精	H25. 10. 31	1,050,000	新規
								H25. 9. 19				
目 計											1,050,000	
観光費	単県	ショッパー名古屋版(7/4)鳥取県取材記事掲載業務委託	株式会社中日新聞社	500,000	(H25. 6. 14) 500,000	H25. 6. 14 ～ H25. 7. 4	H25. 6. 11 (免除)	H25. 7. 4	精	H25. 8. 8	500,000	
							随	H25. 7. 4				
観光費	単県	名古屋駅中央コースでの鳥取県の観光情報発信に係る業務委託	株式会社ジェイアール東海エージェンシー	1,600,000	(H25. 8. 5) 1,600,000	H25. 8. 5 ～ H25. 9. 30	H25. 7. 31 (免除)	H25. 9. 30	精	H25. 10. 31	1,600,000	新規
								H25. 9. 30				
観光費	単県	ショッパー名古屋版(9/19)鳥取県取材記事掲載業務委託	株式会社中日新聞社	500,000	(H25. 9. 2) 500,000	H25. 9. 2 ～ H25. 9. 19	H25. 9. 2 (免除)	H25. 9. 19	精	H25. 10. 28	500,000	
							随	H25. 9. 19				
観光費	単県	ショッパー名古屋版(11/14)鳥取県取材記事掲載業務委託	株式会社中日新聞社	500,000	(H25. 11. 5) 500,000	H25. 11. 5 ～ H25. 11. 14	H25. 11. 5 (免除)	H25. 11. 14	精	H25. 12. 9	500,000	
							随	H25. 11. 14				
目 計											3,100,000	

労政総務費	単県	鳥取県の企業立地環境に関する情報発信業務	株式会社オリコム名古屋支社	2,556,000	(H25.10.2) 1,680,000	H25.10.2 ～ H25.11.30	H25.9.30 (免除)	H25.11.30	精	H25.12.16	1,680,000	新規
							随	H25.12.2				
労政総務費	単県	鳥取県魅力発信映像制作業務委託	株式会社エス・アイ・シー	490,000	(H25.9.30) 384,825	H25.9.30 ～ H25.11.11	H25.9.26 (免除)	H25.11.11	精	H25.12.16	384,825	新規
								H25.11.11				
目 計											2,064,825	
合 計											6,214,825	

18 工事請負費調べ 該当なし

18-2 工事請負費調べ（他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの） 該当なし

19 財産に関する調べ

(1) 公有財産

- ア 土地 該当なし
- イ 建物 該当なし
- ウ 山林 該当なし
- エ 不動産売却等 該当なし
- オ 財産の交換 該当なし
- カ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機） 該当なし
- キ 物権 該当なし
- ク 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等） 該当なし
- ケ 有価証券 該当なし
- コ 出資による権利 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成26年1月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
	円	円	円	円	
郵便切手及び郵便はがき	20,450	94,500	92,450	22,500	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道/バスプリペイドカード	0	0	0	0	
合 計	20,450	94,500	92,450	22,500	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成26年1月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
JCBタクシーチケット 78枚	200枚	212枚 301,540円	66枚

(3) 基金 該当なし

(4) 債権 該当なし

20 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 該当なし

イ 建物

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先住所氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
借受不動産	事務所	名古屋市中区栄四丁目1番1号	3.3㎡	25.4.1	25.4.1	25.4.1 ～ 26.3.31	月額・年額	141,156	鳥取県鳥取市若葉台南七丁目5番1号 (財)鳥取県産業振興機構	
	事務所	名古屋市中区栄四丁目1番1号	3.3㎡	25.4.1	25.4.1	25.4.1 ～ 26.3.31	月額・年額	141,156	鳥取県鳥取市栄町606 (社)鳥取県観光連盟	
計								282,312		
合計								282,312		

(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの) 該当なし

21 借受不動産明細調べ 該当なし

22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ 該当なし

23 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ 該当なし

24 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

25 備品の処分状況調べ 該当なし

26 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし

27 貸付金等状況調べ 該当なし

## 28 企業誘致の状況

### (1) 企業誘致の条件、目標等

#### ①目標

年間1社誘致

#### ②訪問先選定のポイント等

- ・自動車関係を主としていない製造業
- ・中国（韓国、ロシア）との物流ルートを保有（工場、取引先）
- ・災害や震災からのリスク分散を意識
- ・鳥取県の立地環境（助成制度、境港航路等）への興味
- ・中四国九州に主要取引先がある
- ・本社・他の自社工場への近接性が最重視
- ・既訪問企業、鳥取関係者等からの紹介

### (2) 企業訪問

#### ① 訪問企業数205社（平成26年1月末時点）

#### ② 内 訳

区 分	既誘致企業 (3社)	平成24年度新規開拓企業 (41社)	そ の 他 (161社)
業種(主なもの)	食品加工(1社) 機械製造(2社)	機械製造 情報機器	機械製造 金属加工 食品加工

### (3) 成果

- ・4月から新たに企業誘致専門職員（非常勤職員）を配置したことで機動的な活動が可能となった上、中京圏で培った人脈や経験により、効率的により多くの企業への訪問が実現できている。

101社（H24） → 205社（H26年1月末時点）

- ・新たなコネクションの開拓による新規訪問が増え、それに伴い今後の成果が期待される案件が増加している。
- ・企業立地トップセミナーに中京圏からの参加が多くあり（79名）、アンケート結果からも鳥取県の情報提供について一定の成果があった。

＜アンケートの主な回答＞

「災害リスクの少なさ、アクセスの良さなど鳥取県の立地環境は良いと思った。」

「鳥取県企業との連携ができないか考えたい。」

### (4) 課題

- ・工場等の国内進出を検討する企業は多くはないが、円安、景気の上向きにより投資意欲を高める企業も散見され始めており、そのような企業を効率よく開拓・アプローチする工夫が必要。

## 29 県内物産の展示、宣伝、紹介の状況

「6主な事業に関する調べ」に記載。

## 30 観光宣伝の状況

「6主な事業に関する調べ」に記載。

3.1 県外本部・代表部庁舎に入居している団体等の調べ

(平成26年1月31日現在)

団 体 名	職員数 (人)	当初入居 の年月日	面 積 (㎡)	職員1人当 たりの面積 (㎡)	使用料 貸付料 (月又は年額) (円)	減免率 (%)	共 益 費 等 の 負 担 方 法	備 考
公益社団法人鳥取 県観光連盟	1	H19.4.1	3.3	3.3	年額141,156	—	面積割	
公益財団法人鳥取 県産業振興機構	1	H18.4.1	3.3	3.3	年額141,156	—	面積割	

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

--

(2) 監査委員事務局に対する要望等

(例：日程、調書様式、その他監査に関する要望、改善点等)

--